

みんなの入学を待っているね

10/28
(金)

幼保小中一貫教育プロジェクトの取り組みとして、町内の園に通う年長児が入学予定の小学校に出向き、1年生と交流する「幼保小一斉交流会」が10月下旬から11月上旬にかけて行われました。

南部小学校では10月28日に開催され、ほくぶ幼稚園、中部保育園、いしづかやまこどもえんの年長児が小学校を訪れました。1年生の児童らは、体育館で「あきまつり」を開催。園児に楽しんでもらおうと工夫を凝らした店を用意し、楽しく交流しました。



▲ 交流する園児と児童

定期的に歯と骨の健康の確認を

歯と骨の健康に対する意識を高めてもらうため、オアシスセンターで「歯と骨の健診デー」を開催しました。来場者は、歯科医による「歯科健診・フッ素塗布」や専門機器を使って骨密度を測定する「骨密度検診」などを受け、自身の健康状態を確認していました。「栄養コーナー」では、食生活改善推進員が骨を丈夫にするためのレシピを紹介しました。来場者は「結果を聞いて、バランスの良い食事や適度な運動を心掛けたいと思った」と話しました。

11/6
(日)



▲ 歯にフッ素を塗ってもらう子ども

緊張せず実力を出し切りたい

第13回バスティンピアノコンクール(12月10日、11日、17日、18日・名古屋市で開催)に出場する岡戸このかさん(阿久比中3年)、岡戸心玲さん(英比小6年)、岡戸杏心さん(英比小4年)、新美凜空さん(城山保育園年長)が町長を表敬訪問しました。4人は、名古屋地区予選で優秀賞を受賞し、全国大会への出場を決めました。中学生・高校生の部に出場する岡戸このかさんは「中学生として臨む最後の全国大会。実力を出し切りたい」と話しました。

11/7
(月)



▲ 左から心玲さん、杏心さん、新美さん、このかさん

11/15
(火)



▲ 左から瀧塚さん、比名子さん、敬定さん

長年の保護司活動に表彰状

罪を犯した人の更生活動に貢献したとして、保護司の竹内敬定さん(草木)と竹内比名子さん(阿久比)が中部地方更生保護委員会委員長表彰、瀧塚政明さん(植)が名古屋保護観察所長表彰を受け、町長を表敬訪問しました。

竹内敬定さんは「あっという間の10年。保護観察の対象者が再犯した時など落ち込むこともあるが、これまでの経験を生かし、今後も対象者の立ち直りを支えられるよう活動していきたい」と話しました。